

問1 国際連盟の設立（1920年）から1930年代にかけての日本の国際的地位と動向について、その背景や理由を含めた説明として最も適切なものを選択してください。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、日本は主要国の一角として常任理事国を務めたが、満州事変後の国際連盟による勧告を拒否して1933年に脱退した。
2. 日本は1920年の設立時には加盟が認められていなかったが、ワシントン会議での軍縮が評価されて常任理事国の地位を得た後、太平洋戦争の勃発までその地位を維持した。
3. 国際連盟において日本は小国の利害を代表する非常任理事国の立場を貫いたが、世界恐慌による経済的混乱を解決できない連盟の無力さに失望して脱退した。
4. 日本は国際連盟設立当初、ドイツの加盟を支持するために常任理事国の地位を一時的に返上したが、後にイタリアとともに復帰し、1933年まで連盟を主導した。

問2 大正デモクラシーの時期、第一次世界大戦へ参戦した当時の社会情勢の中で、吉野作造が唱えた政治思想を何といいますか。主権が誰にあるかを問わず、民意に基づいて民衆の幸福のために政治を行うべきであるとする考え方を選択してください。

（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 民本主義
2. 天皇機関説
3. 社会主義
4. 普通選挙

問3 1920年代の日本は、ワシントン会議などの国際会議の結果を受け、欧米諸国との協調を重視する「幣原外交」を展開しました。当時、日本が海軍の軍備制限を受け入れた背景や目的を説明したものととして、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 膨大な軍事費による財政負担を軽減し、国際的な孤立を避けたため
2. 国際連盟の常任理事国に選出されるための条件を満たすため
3. 日英同盟を強化し、ロシア（ソ連）の南下政策を阻止するため
4. 満州事変後の国際的な批判をかわし、不戦条約を遵守するため

問4 1918年に富山県の沿岸部から始まり、その後全国へと広がった「米騒動」が起こった背景について、国際情勢との関連を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）

1. ロシア革命の影響が広がるのを防ぐためにシベリア出兵が行われることになり、軍用米の需要を見込んだ商人たちが米を買い占めたことで、米価が急騰した。
2. 義和団事件の鎮圧のために軍隊を派遣した結果、国内の米が不足し、政府が米の配給制を強行したことで都市部の住民が反発した。
3. 日清戦争の開戦に伴い、戦場への食料供給を優先するために農村部から強制的に米を徴収したことが、農民の激しい抵抗を招いた。
4. 徴兵令の施行によって農村の働き手が減少したため、全国的な米不足が発生し、生活に困窮した人々が役所を襲撃した。

問5 1918年に発生した米騒動の影響で寺内正毅内閣が総辞職した後、日本で初めてとなる本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。（2017年 愛媛公立入試 類似）

1. 原敬
2. 板垣退助
3. 大隈重信
4. 桂太郎

問6 大正時代、政治の目的は民衆の利益に置くべきであり、民衆の意向に従って政治を行うべきであるとする「民本主義」を提唱し、大正デモクラシーの理論的指導者となった人物は誰ですか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 吉野作造
2. 中江兆民
3. 幸徳秋水
4. 田中正造

問7 日本が中国に突きつけた「二十一箇条の要求」の内容の一部で、「中国政府は、ドイツが有する一切の利権を日本にゆずることを承諾すること」と記された地域はどこですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 山東省
2. 遼東半島
3. 南満州
4. 福建省

問8 1918年、ロシア革命の影響を抑えるために政府が決めたシベリア出兵を見越して、商人が米を買い占めたことで価格が急騰しました。これに反発した富山県の漁村の女性たちが起こした行動が全国的な民衆運動へと発展しましたが、この運動の結果、退陣に追い込まれた当時の内閣を次の中から選びなさい。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. 寺内正毅内閣
2. 原敬内閣
3. 加藤高明内閣
4. 犬養毅内閣

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 第一次世界大戦後の国際秩序形成において、日本は主要国の一角として常任理事国を務めたが、満州事変後の国際連盟による勧告を拒否して1933年に脱退した。	日本は第一次世界大戦の戦勝国として、1920年の国際連盟設立時から主要国（常任理事国）として国際社会をリードする立場にありました。しかし、1931年に始まった満州事変をめぐり、国際連盟が派遣したリットン調査団によって日本の行動が不当であると判断されました。1933年の連盟総会で、満州から日本軍が撤退することなどを求める報告書が圧倒的多数で可決されたため、日本はこれを受け入れず、松岡洋右代表らが退場して国際連盟からの脱退を強行しました。
問2	<b>答え 1</b> 民本主義	吉野作造は、大日本帝国憲法下で天皇が主権を持つ体制と折り合いをつけつつ、民衆の意向を反映させた政治を実現するために「民本主義」を提唱しました。これは、政治の目的を民衆の幸福に置き、政策決定において民意を尊重することを求めるもので、大正デモクラシーの理論的な支柱となりました。
問3	<b>答え 1</b> 膨大な軍事費による財政負担を軽減し、国際的な孤立を避けるため	第一次世界大戦後、日本は海軍力を増強する「八八艦隊案」を計画していましたが、これには国家予算の約半分を費やす必要があり、財政上の大きな負担となっていました。また、アメリカやイギリスとの建艦競争は国際的な緊張を招く恐れがあったため、ワシントン会議において軍備制限に合意することで、経済の安定と国際協調路線の維持を図りました。国際連盟の常任理事国就任は、これより前のパリ講和会議での出来事です。
問4	<b>答え 1</b> ロシア革命の影響が広がるのを防ぐためにシベリア出兵が行われることになり、軍用米の需要を見込んだ商人たちが米を買い占めたことで、米価が急騰した。	第一次世界大戦中に発生したロシア革命の波及を阻止するため、日本政府はシベリア出兵を決定しました。この軍事行動に際し、商人が米の買い占めや売り惜みを行ったことで米価が異常に値上がりし、生活に困窮した富山県の主婦たちが米の廉売を求めて立ち上がったことが全国的な米騒動へと発展しました。
問5	<b>答え 1</b> 原敬	米騒動という民衆の抗議行動によって内閣が倒れたことを受け、衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相に選ばれました。陸軍・海軍・外務の大臣を除き、閣僚のほとんどを政党内閣で組織したため、本格的な政党政治の始まりとして歴史的に重視されています。
問6	<b>答え 1</b> 吉野作造	大正デモクラシー期、吉野作造は主権の所在（天皇か国民か）という憲法上の議論を避けつつ、実際の政治運用において民衆の意向を反映させることを重視する「民本主義」を唱えました。この理論は、当時の知識人や学生に大きな影響を与え、政党内閣の確立や普通選挙の実現を求める運動の柱となりました。なお、中江兆民は明治時代の自由民権運動、幸徳秋水は明治末期の社会主義運動、田中正造は足尾銅山鉱毒事件の解決に尽力した人物です。
問7	<b>答え 1</b> 山東省	日本は日英同盟を理由に第一次世界大戦に参戦し、ドイツの拠点であった青島を含む山東省を占領しました。二十一箇条の要求では、そのドイツが持っていた利権を日本が継承することを中国に認めさせようとした。この要求の多くを袁世凱政府が最終的に受け入れたことは、中国国内で「国恥記念日」として記憶されるほど、激しい反日感情を巻き起こしました。
問8	<b>答え 1</b> 寺内正毅内閣	第一次世界大戦中の好景気による物価上昇に加え、シベリア出兵を見越した米の買い占めが原因で米価が暴騰しました。富山県から始まった米騒動は、軍隊が出動するほどの全国的な規模に発展し、当時の寺内正毅内閣は事態を収拾できず総辞職しました。その後、日本初の本格的な政党内閣である原敬内閣が誕生するきっかけとなりました。